

家庭学科、福祉学科を兼ね備えた都立初の専門学科高校

1期生として学校の歴史を作ろう！

開設準備中：東京の新設校3校を紹介

新時代・令和を新設校で過ごすよう、来々年に開設する学校と共に成長する魅力

公立校が脚光を浴びている。1期生として入学すれば、自身の歩みが学校の歴史になるといっても過言ではない。このように、大きな魅力を秘めた開設準備中の3校を紹介する。

東京都立赤羽北桜高等学校

来年4月開校

令和に入って最初に開校する都立高校が東京都立赤羽北桜高等学校。

今春閉校となった都立赤羽商業(北区西が丘)の校舎を改修。来年4月の新入生はアクセス良好、環境抜群



のリニューアルした校舎で学問に励むことができる。

「スペシャリストの育成」、「探究的な学習の充実」、「地域との連携」という3つのコンセプトを掲げ、富川麗子校長、中村留美副校長を中心とした開設

準備室8人で開校への最終調整に入っている。大きな特徴は、家庭学科、福祉学科という2つの学科を兼ね備えた都立で初めての専門学科高校であることだ。

体験的・実践的な学習を通じ生徒を育成

卒業と同時に調理師の資格が取れる調理科(申請中)、介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる介護福祉科(申請中)、幼児教育・保育系や栄養・健康系の上級学校への進学を目指す保育・栄養科を設置する予定で、富川校長は「家庭分野や福祉分野に興味のある、本校へ入学した生徒が専門高校で学んだことを生かして、この分野のバイオニアとして社会で貢献できる人材になってほしい」と考えています。

少子高齢化に対応する介護人材や保育人材の育成、そして人の心を豊かにする食の追求をする調理師の養成が期待される現在。1期生となる現中学3年生にとっては、希望の新設校となるはずだ。

これまで開校1年目と2年目の学校などに携わった富川校長は「この専門分野について深く学んでみたいという生徒にあっては、好きなことを学べることに加えて、自分たちで学校をつくっていくという得難い経験ができる学校です」と大きな期待を込めている。

東京都立小中高一貫教育校(仮称)

2022年4月、公立では全国初となる小中高一貫教育校が東京都立川市に開校する。

仮称は「東京都立小中高一貫教育校」。今年4月1日、都立立川国際中等教育学校内に「開設準備室」に着任した市村裕子校長、田中純子副校長、吉田裕介主任教諭、高橋陽子主任教諭を軸に、教育系と事務系が連携して開校に向けて取り組んでいる。



「このゴールがないので、取り組みたいことはたくさんあります。小学校を中心につくっていますが、小中高

は、12年間の一貫教育における小学校部分であり、12年後はどうあるべきかを常に考えています」と説明した通り、二丸となり準備を進めている。

「よりよい世界の実現に向け、人や社会に貢献し、公立では全国初の小中高一貫教育校

小学校段階から第二外国語に触れる機会設定

11月28日(午前10時)正午、午後2時〜4時)には説明会が「たましんRISURUホール(立川市市民会館)」大ホールで行われ、夢がたくさん詰まった新設校の魅力を感じてみてほしい。

市村校長。これまでの教員生活で、都立つばさ総合高校の開校、都立国際高校国際パカローア(ITA)コースの開校などに携わってきただけに経験は十分。小中高一貫校の開校へ情熱を日々注いでいる。

図書室、パソコン室、視聴覚室、自習室などの機能を一体化させ、異学年での交流活動の拠点となる「ライニング・コモンズ」なども充実させる仕組みも満ちた。

11月28日(午前10時)正午、午後2時〜4時)には説明会が「たましんRISURUホール(立川市市民会館)」大ホールで行われ、夢がたくさん詰まった新設校の魅力を感じてみてほしい。

世界を舞台に活躍する人材を育成

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

所在地は足立区小台。JR田端駅からバスで約10分とアクセス良好で、22年3月に閉校する都立荒川商業高校の校舎を改修。完成時は36クラス、教職員・スタッフは1000人超の規模になるという注目校だ。

杉森共和校長は現在、開設準備に奔走している。「チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

足立地区チャレンジスクール(仮称)

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

幅広い科目の中から自分で科目を選択し学習できる

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。

「足立地区チャレンジスクール(仮称)」は2022年4月に開校する。3部制、単位制、総合学科のチャレンジスクールとゼミナールが特徴の新たな都立高校だ。不登校や中途退学などこれまでの学校生活では個性や能力を十分に発揮できなかった生徒でも、安心して存分に学ぶことができる時と場を提供する。